

# 令和6年能登半島地震における災害ボランティアセンター派遣活動報告会

## 兼協働型災害ボランティアセンター運営研修 開催要項

### 【趣 旨】

甚大な被害をもたらした令和6年能登半島地震発生から9か月以上が経ったが、奥能登豪雨によってさらなる被害が発生し、現在も社会福祉協議会（以下、社協）をはじめ、様々な個人・団体が被災者支援を継続して実施している。この間、群馬県内社協職員として延べ67名という多くの方々から災害ボランティアセンター（以下、災害VC）へ派遣協力いただいた。

災害によって突発的に発生する災害VCの運営を通じた被災地支援・運営業務は多岐にわたる。その状況を乗り越えるべく、被災地社協では、他県の社協職員を含む外部支援者と連携・協働しながら、懸命に業務遂行に取り組んでいる。

一方で、同時多発・広域的な災害が発生した場合、外部支援者の協力が望めない状況となる可能性も想定され、平時における県内の支援者同士の繋がり確保が重要である。

本県から派遣された社協職員の経験・知見を共有して積み重ねることに加えて、県内支援者の繋がり確保に取り組み、災害VC運営力の強化、平時の県内社協の連携強化、外部支援者との連携・協働による支援を受ける力、受援力の強化を図ることを目的として、本報告会兼研修を開催する。

【開催日時】令和6年11月19日（火）13:00～16:00（180分）

【開催方法】参集・オンラインのハイブリッド方式

【開催場所】群馬県社会福祉総合センター 8階 大ホール（前橋市新前橋町13-12 社会福祉総合センター内）

【内 容】※内容が一部変更になる可能性があります。

13:00～13:10	10分	開会あいさつ 群馬県社会福祉協議会 会長 川原 武男 県民活動支援・広聴課 課長 宮田 和久 氏
13:10～14:10	60分	講義『令和6年能登半島地震に被災地支援から見えてくる 協働型災害ボランティアセンター～被災地社協の心の声～』（調整中） 講師：一般社団法人BIGUP 石巻 代表取締役理事 阿部 由紀 氏 東日本大震災当時、宮城県石巻市社会福祉協議会に勤務。災害ボランティアセンター運営に携わる。平成24年にBIGUP石巻を立ち上げて全国各地の被災地で支援活動を実施。令和6年能登半島地震では発災直後から現在においても継続的に支援活動を実施。全国社会福祉協議会等が開催する多数の研修で講師として登壇。
14:10～14:20	10分	休憩
14:20～15:25	65分	市町村社協による実践報告① 報告者：高崎市社会福祉協議会 吉井支所長 関口 純一 氏（内灘町・輪島市派遣） 市町村社協による実践報告② 報告者：館林市社協 主事 飯島 弘敏 氏（穴水町に派遣） ボランティア団体等における被災地への活動報告 報告者：NPO 法人よりきど暮らしの会 代表 月橋 章 氏（穴水町にて炊き出し支援） 大泉町にて健康体操教室、買物支援、子ども食堂を定例で実施。災害時には子ども食堂の経験と機材を活かして炊き出し等のボランティア支援を行う。令和6年能登半島地震では穴水町にて炊き出し支援を実施。 被災地社協様による報告【調整中】
15:25～15:35	10分	休憩
15:35～15:55	20分	質疑応答・まとめ
15:55～16:00	5分	閉会あいさつ 群馬県市町村社会福祉協議会会長会 会長 大手 治之 氏 （富岡市社協 会長）

【主 催】社会福祉法人群馬県社会福祉協議会 【共 催】群馬県/群馬県市町村社会福祉協議会会長会

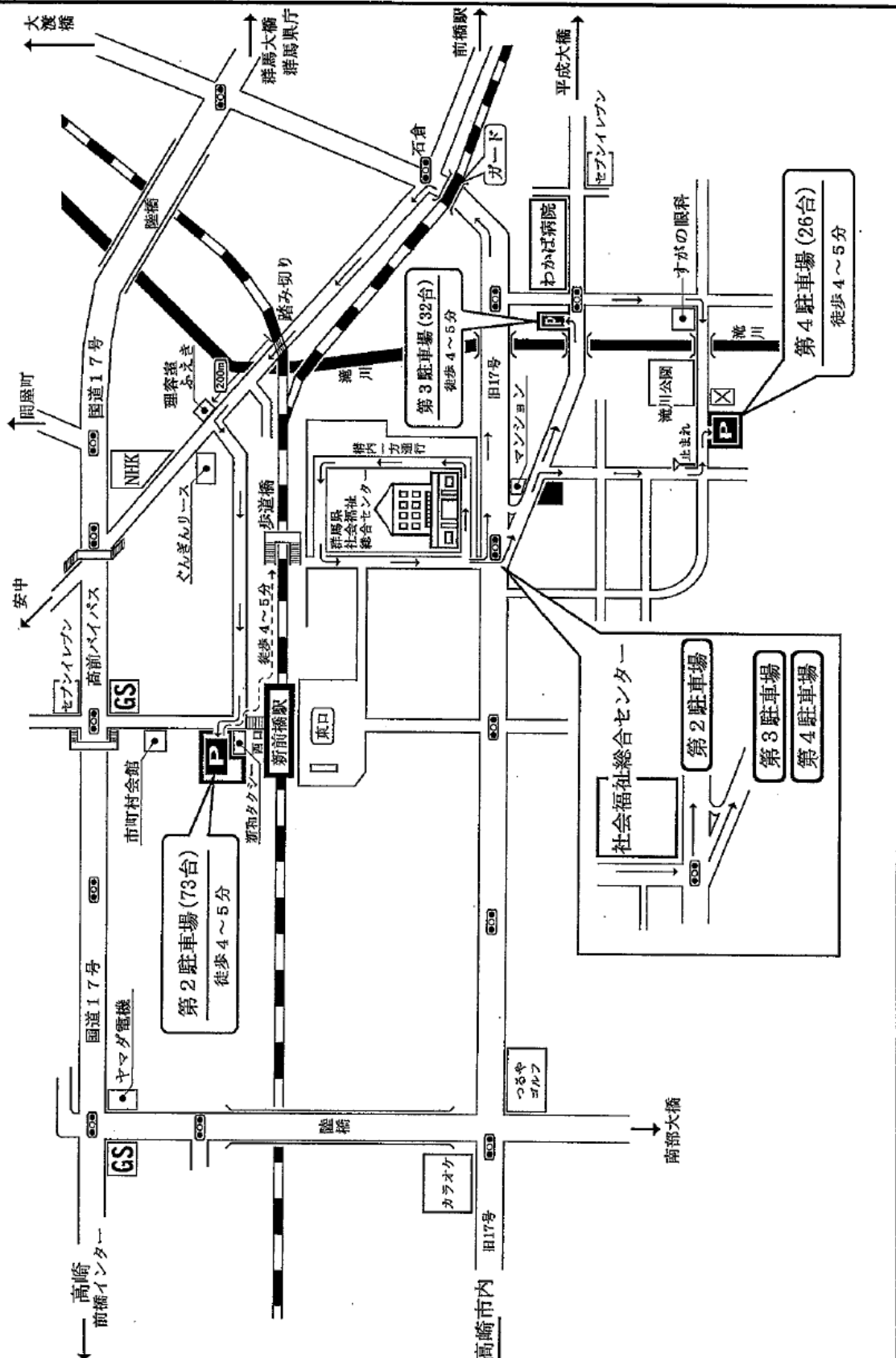
【対 象 者】市町村社会福祉協議会職員、県社協役員、県関係各課、NPO・関係団体の職員、県社協または市町村社協と協定締結している団体職員、災害ボランティア団体、福祉系大学教員・生徒 等

【申し込み】出席申込書に記載の上、担当宛に令和6年11月8日(金)までにお申し込みください。

【駐車場】構内駐車場は混み合う可能性があります。優先的に第2～第4駐車場をご利用ください。

また、構内駐車場では詰め込み駐車となる可能性があります。予めご了承ください。

# 群馬県社会福祉総合センター駐車場案内図



担当：群馬県社会福祉協議会  
災害福祉支援センター 渡辺・鈴木  
電話：027-289-4411  
FAX：027-255-6444  
メール：saigai@g-shakyo.or.jp